



1_甲岡町長をはじめとする審査員も、鬼嫁ぶりに思わず笑顔／2_福笑いゲーム。夫の目はこの目に間違いない／3_何かが違う…見慣れたはずの夫の顔／4_「この口はうちの夫の口のような気が…」参加者同士で協議中／5_数々の鬼嫁エピソードに「ほいけんた」さんも驚き／6_その食材の旬の季節を当て、喜ぶ参加者／7_サンマと栗で考案した渾身の一品／8_司会を務めた鬼北町観光大使の梶形浩人さん(写真中央)と飛鳥さん(写真左)夫妻。そして、ゲストは明石家さんまさんのものまねでおなじみ「ほいけんた」さん(写真右)／9_照れながらも、夫へ愛のメッセージを捧げる／10_「今日のママもかっこいい」と、子どもから励ましの言葉／11_夫も妻へ感謝の言葉を送る



Interview



【グランプリ】

和田 奈津江さん
裕 介さん
(東温市)

まさか優勝できるとは思っていなかったの、驚いています。女性5人のパワーはやはり強かったのでしょうかね。これから「愛ある鬼嫁」に選んでいただけたことに誇りと自信を持って、家族を支えていきたいと思います。



【準グランプリ】

立石 理恵さん
亮 さん
(松山市)

鬼嫁コンテストのCMを見た末娘に懇願され、出場を決意しました。とても緊張しましたが、準優勝できてとても嬉しく、楽しい思い出となりました。これからも、今まで以上に家族仲良く暮らしていきます。

きじ鍋まつりも同日開催！鬼北の味を満喫



1_「おいしそう」と、きじ鍋を受け取る来場者／2_愛治ちんどんクラブの演奏が花を添える／3_メインのきじ鍋。具だくさんの優しい味／4_きじの串焼きのいい香りに誘われて…



「きじ鍋まつり」は2月5日、鬼北町農業公社で開催されました。毎年大好評の本イベント。この日も、あいにくの雨模様にも関わらず、鬼北町の美味を堪能しよう、と、町内外から大勢の人が訪れました。会場には、鬼北町の新鮮な農林産物や特産品のきじを使用したグルメがずらりと並び、来場者たちはそれぞれの店舗をじっくり見て回りながら、お目当てのものを購入していました。

た。中でも、メインである「きじ鍋」を販売するテントには引つ切りなしに人が訪れ、この季節にぴったりの優しい味で、来場者たちの心と身体を温めていました。また、恒例の愛治ちんどんクラブが登場し、生演奏を披露。その姿を目見ようと集まった多くの来場者に囲まれながら、華やかな化粧と衣装、そして明るい楽曲で、観客の目と耳を楽しませていました。